

# 姫川水系河川整備計画（原案） からの修正箇所について



平成26年2月2日  
国土交通省 北陸地方整備局

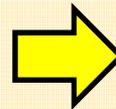
# 第1章 河川整備計画の基本的な考え方

## 第1節 計画の趣旨

原案なし、p52-53⇒案p1-2

変更内容：整備計画の趣旨を最初に説明するため、新規文章を追加および構成を変更

なし



「姫川水系河川整備計画（国土交通大臣管理区間）」  
（以下、本計画）は、河川法の三つの目的、

- 1) 洪水、高潮等による災害の発生防止
- 2) 河川の適正利用と流水の正常な機能の維持
- 3) 河川環境の整備と保全

が総合的に達成できるよう、河川法第16条に基づき、平成20年6月に策定された「姫川水系河川整備基本方針」に沿って、河川法第16条の二に基づき、当面実施する河川工事事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す法定計画です。

本計画に基づき、洪水氾濫等による災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせるよう河川の整備を図ります。

また、姫川水系が有している自然環境や河川景観を保全・継承するとともに、地域の個性と活力、川の歴史や文化が実感できる川づくりを目指し、関係機関や地域住民と共通の認識を持って、連携を強化しながら治水、利水、環境に係る施策を総合的に展開していきます。

なお、河川整備計画は、現時点での社会経済状況、自然環境状況、河道状況等を前提として策定するものであり、策定後にこれらの状況の変化や新たな知見、技術の進歩等が生じた場合には、計画対象期間内であっても適宜、見直しを行います。

文章について：整備計画を説明する文章を記載。

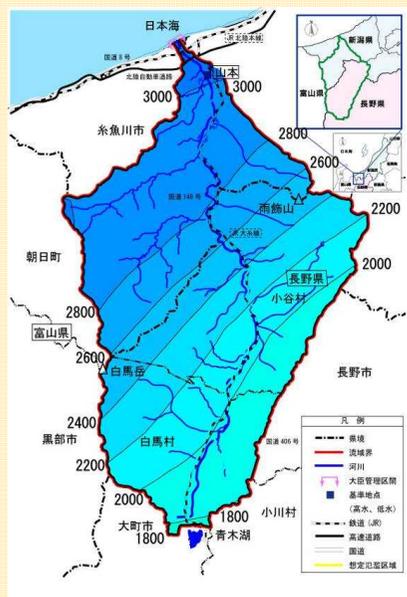
- ◆ 第2節、第3節として、第3章にあった計画対象区間、計画対象期間を移動させ、以降の章番号、節番号を振り直した。

## 第2章 姫川流域等の概要

### 第1節 流域及び河川の概要 (3) 気候

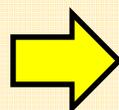
原案p6⇒案p8

変更内容：等量線図の変更（最新データに更新）



■姫川流域等量線図

1971-2000の気象庁の  
平年値を用いて作成。



1981-2010の気象庁の平年値を用いて、  
最新データへ更新。合わせて背景の河川を  
見やすくするため、色調を修正。

文章について：最新データに更新しても傾向に変化が無いいため原案のままとする。

- ◆ 流域の気候は、日本海型気候に支配され、上流部の降水量は約2,000mm、下流部は約2,900mm程度であり、年間を通じて毎月100mmを超える多雨多雪地帯です。
- ◆ 上流部は内陸性気候の影響により寒暖差が大きく、中流部は季節風を直接受けるため積雪量が多くなっています。

## 第2章 姫川流域等の概要

### 第1節 流域及び河川の概要 (11) 交通

原案p16⇒案p18

変更内容：出荷額等および貨物取扱量の推移グラフの変更（最新データに更新）

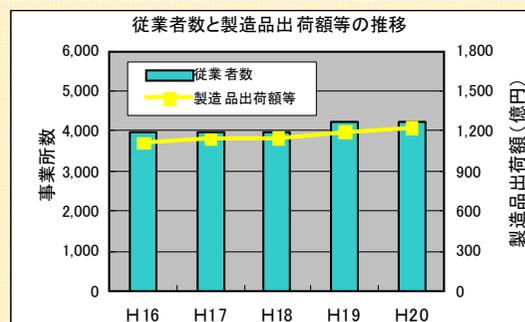


図1-16 交通体系図及び主な工場・施設



H24まで

H25まで

図2-16 交通体系図及び主な工場・施設

文章について：最新データに更新しても傾向に変化が無いため原案のままとする。

- 姫川港は、昭和48年開港以来、重点投資流通港湾、総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定され、物流の拠点として地域産業の発展に大きく貢献し、化学、セメント工業を背景に発展し、取扱貨物量も年々増加し、平成16年には、過去最高の568万tの取扱を記録するなど順調に伸びてきており、当地域の海運拠点としての役割が一段と高まっています。

## 第2章 姫川流域等の概要

### 第3節 利水の沿革 (1) 渇水の歴史

原案p23⇒案p25

変更内容：姫川流域平均雨量および山本地点流量グラフの変更（最新データに更新）

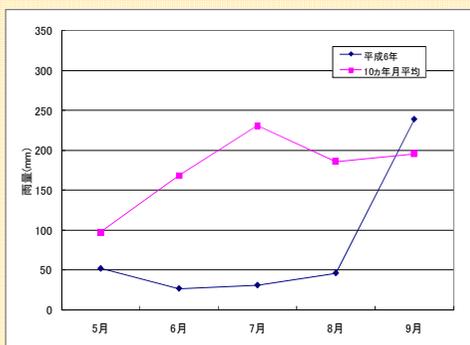


図1-21 姫川流域平均雨量の平成6年と10ヶ年月平均の比較(平成11年～平成20年までの月平均流域平均雨量)

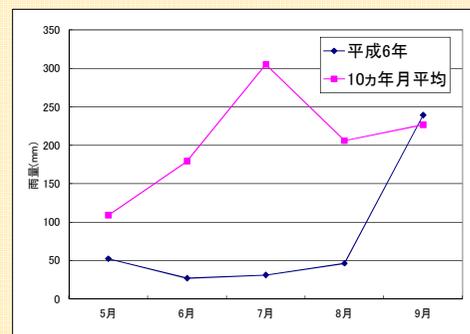


図2-21 姫川流域平均雨量の平成6年と10ヶ年月平均の比較(平成15年～平成24年までの月平均流域平均雨量)

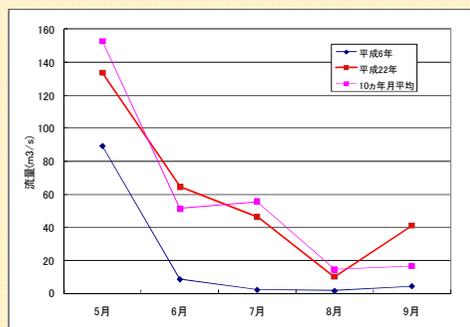


図1-22 山本地点流量の平成6年と10ヶ年月平均の比較(平成13年～平成22年までの流量の月平均値)

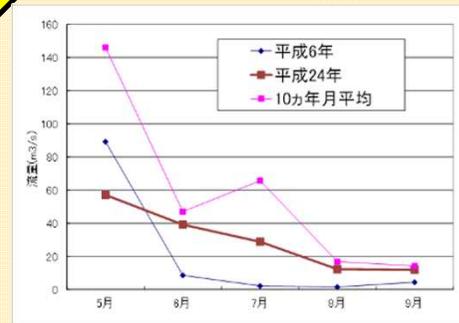


図2-22 山本地点流量の平成6年と10ヶ年月平均の比較(平成15年～平成24年までの流量の月平均値)

文章について：最新データに更新しても傾向に変化が無いいため原案のままとする。

- 姫川では、これまでに大きな渇水被害は発生していません。全国的に渇水被害が発生した平成6年は、姫川の流域でも小雨となり、山本地点の流量は、6月から9月にかけて減少し、昭和50年の観測開始以降最低流量を記録しましたが、深刻な渇水被害には見舞われませんでした。

### 第3章 姫川の現状と課題

#### 第2節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

(1) 「急流河川」 姫川特有の生物の生息・生育・繁殖環境

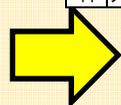
原案p42-43⇒案p44-45

変更内容：特定種一覧表の変更（最新データに更新）

表2-3(1) 姫川で確認された特定種一覧表(鳥類)

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直し 2007)	新潟県 RDB
1	コクガン	<i>Branta bernicla</i>	国		VU	NT
2	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			DD	
3	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT
4	ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i>			NT	NT
5	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	国	I	EN	EN
6	オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	国	I	VU	EN
7	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>		I	VU	NT
8	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>			NT	NT
9	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>			NT	NT

見直し2007



見直し2012

表3-3(1) 姫川で確認された特定種一覧表(鳥類)

No.	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	環境省RL (見直し2012)	新潟県 RDB
1	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>				NT
2	コクガン	<i>Branta bernicla</i>	国		VU	NT
3	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			DD	
4	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT
5	ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i>			NT	NT
6	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	国	I	VU	EN
7	オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	国	I	VU	EN
8	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			NT	NT
9	イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>	国	I	EN	EN
10	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>		I	VU	NT
11	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>			VU	
12	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>			NT	NT
13	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>			VU	NT
14	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>			NT	NT

文章について：最新データに更新しても大きく変化が無いため原案のままとする。

(種の確認：「河川水辺の国勢調査」より)

- 河川沿いの山地斜面の崖面にはケヤキ群落やツメレンゲ群落が分布しています。河道内は、出水による攪乱の影響を受けやすい環境にありますが、河口付近には砂丘植物群落、砂礫地や中州にはカワラヨモギ、カワラハハコといった草本群落やアキグミ林、ヤナギ林が分布しており、イソシギ、コチドリ、ヒバリ等が繁殖場として利用しています。また、堤防周辺には、コマツナギを食草とするミヤマシジミが生息しています。

# 第3章 姫川の現状と課題

## 第2節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

(1) 「急流河川」姫川特有の生物の生息・生育・繁殖環境

原案p42-43⇒案p44-45

変更内容：特定種一覧表の変更（最新データに更新）

表2-3(6) 姫川で確認された特定種一覧表(植物)

No	和名	学名	重要種	
			文化財 保護法	種の 保存法 (見直し2007)
1	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>		VU
2	イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i>		VU
3	トクサ	<i>Equisetum hyemale</i>		NT
4	イヌトクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i>		NT
5	コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>		LP
6	コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale var.nipponicum</i>		VU
7	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i>		VU
8	ツルテンダ	<i>Polystichum craspedosorum</i>		NT
9	ヒメカナワラビ	<i>Polystichum tsus-simense</i>		VU
10	カラマツ	<i>Larix kaempferi</i>		LP
11	アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>		VU
12	ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>		LP
13	ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>		LP
14	シナノナデシコ	<i>Dianthus shinanensis</i>		VU
15	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i>		LP
16	オオバショウマ	<i>Cimicifuga acerina</i>		LP
17	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum var.thunbergianum</i>		NT
18	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>		VU
19	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i>	NT	VU
20	ヒメウツギ	<i>Deutzia gracilis</i>		VU
21	ハルユキノシタ	<i>Saxifraga nipponica</i>		VU
22	ザイフリボク	<i>Amelanchier asiatica</i>		LP
23	クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i>		VU
24	ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>		NT
25	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i>		VU
26	ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>		VU
27	エゾノタチツボスミレ	<i>Viola acuminata</i>		LP
28	ケマルバスマシ	<i>Viola keiskei f.okuboi</i>		LP
29	ヤマゼリ	<i>Ostericum sieboldii</i>		LP
30	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i>	CR	
31	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>		NT
32	イブキジャコウソウ	<i>Thymus serpyllum ssp.quinquecostatus</i>		NT
33	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaefolia</i>		EN
34	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i>		VU
35	フジアザミ	<i>Cirsium purpuratum</i>		NT
36	リュウノウギク	<i>Dendranthema japonicum</i>		NT
37	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i>		VU
38	カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i>	NT	VU
39	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>		VU
40	ヤマスカシユリ	<i>Lilium maculatum var.monticola</i>	NT	VU
41	シラスゲ	<i>Carex doniana</i>		LP
42	マスキサ	<i>Carex gibba</i>		NT

見直し2007

(種の確認：「河川水辺の国勢調査」より)

表3-3(6) 姫川で確認された特定種一覧表(植物)

No.	和名	学名	文化財 保護法	種の 保存法	重要種	
					環境省RL (見直し2012)	新潟県 RDB
1	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>				VU
2	イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i>				VU
3	トクサ	<i>Equisetum hyemale</i>				NT
4	イヌトクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i>				NT
5	コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>				LP
6	ハマハナヤスリ(広義)	<i>Ophioglossum thermale</i>				EN
7	コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale var.nipponicum</i>				VU
8	ミズワラビ	<i>Ceratopteris thalictroides</i>				NT
9	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i>				VU
10	ツルテンダ	<i>Polystichum craspedosorum</i>				NT
11	ヒメカナワラビ	<i>Polystichum tsussimense</i>				VU
12	ピロードシダ	<i>Pyrosia linearifolia</i>				VU
13	カラマツ	<i>Larix kaempferi</i>				LP
14	アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>				VU
15	ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>				LP
16	ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>				LP
17	イタビカズラ	<i>Ficus oxypylla</i>				LP
18	シナノナデシコ	<i>Dianthus shinanensis</i>				VU
19	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i>				LP
20	オオバショウマ	<i>Cimicifuga acerina</i>				LP
21	カザグルマ	<i>Clematis patens</i>		NT		VU
22	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum var.thunbergianum</i>				NT
23	ツツラフジ	<i>Sinomenium acutum</i>				LP
24	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>				VU
25	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i>		NT		VU
26	クサアジサイ	<i>Cardiandra alternifolia</i>				LP
27	ヒメウツギ	<i>Deutzia gracilis</i>				VU
28	ハルユキノシタ	<i>Saxifraga nipponica</i>				VU
29	ザイフリボク	<i>Amelanchier asiatica</i>				LP
30	クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i>				VU
31	ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>				NT
32	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i>				VU
33	ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>				VU
34	イヌハゼ*	<i>Lespedeza tomentosa</i>		NT		VU
35	ウラゲエンコウカエデ	<i>Acer pictum f.comivens</i>				LP
36	エゾノタチツボスミレ	<i>Viola acuminata</i>				LP
37	ケマルバスマシ	<i>Viola keiskei f.okuboi</i>				LP
38	ヤマゼリ	<i>Ostericum sieboldii</i>				LP
39	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i>		CR		
40	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>				NT
41	イブキジャコウソウ	<i>Thymus serpyllum ssp.quinquecostatus</i>				NT
42	ハマウツボ	<i>Orobanche coeulescens</i>			VU	VU
43	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaefolia</i>				EN
44	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i>			VU	EN
45	フクド	<i>Artemisia fukudo</i>		NT		
46	リュウノウギク	<i>Chrysanthemum japonicum</i>				NT
47	フジアザミ	<i>Cirsium purpuratum</i>				NT
48	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i>				VU
49	カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i>		NT		VU
50	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>				VU
51	ヤマスカシユリ	<i>Lilium maculatum var.monticola</i>		NT		VU
52	ミクリ	<i>Sparganium erectum ssp.stoloniferum</i>		NT		NT
53	シラスゲ	<i>Carex doniana</i>				LP
54	マスキサ	<i>Carex gibba</i>				NT

※換出の可能性あり

見直し2012

# 第5章 河川整備の実施に関する事項

## 第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

### (4) 流域の総合的な土砂管理の促進

原案p83⇒案p83

変更内容：姫川水系の土砂動態について、実際には、関係部局の垣根がなく、全体を調査するため、表記を変更



※他、全体を通して、文章文言の誤字・脱字を適正化